

2025年(令和7年)2月オホーツク管内倒産集計

令和7年3月4日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

2カ月連続の倒産発生

発生件数2件、負債総額1億5,025万円

■前月比	件数	1件増加(令和7年 1月	1件)
	負債総額	34,975万円減少(50,000万円)
		”	
<hr/>			
■前年同月比	件数	1件増加(令和6年 2月	1件)
	負債総額	2,155万円減少(17,180万円)
		”	

令和7年2月の発生状況

令和7年2月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生2件、負債総額1億5,025万円。発生企業は北見市内のクリーニング業者と飲食業者。クリーニング業者は医療機関や介護施設に特化する業態で営業していたが、同業他社との競争激化や物価高騰による経費負担増等で収益面が低調に推移。負債超過の状態が続き資金繰りも限界に達したことから破産手続き開始決定に至った。飲食業者は平成26年設立のF0ラーメン店。開業時より順調に推移していたが、コロナ禍で売上が減少に転じ、その後も物価高騰の煽りで赤字計上が続き資金繰りが限界に達したことから破産手続き開始となった。

これで倒産発生は1月に続いて2ヵ月連続。年明けから重苦しい不穏な空気が漂っている。

過去5年間と今年1月～2月の発生推移

過去5年間の1月～2月の発生推移は【右・表】の通りで、平均発生件数は1.6件。同負債総額は2億2,424万円となっている。

年明けから倒産発生が続いた今年は過去5年間の平均を大きく上回っており、今後の動向が懸念される状況だ。

過去5年間と今年1～2月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2020年	3件	7億5,800万円
2021年	2件	7,000万円
2022年	0件	0円
2023年	1件	7,000万円
2024年	2件	2億2,322万円
2025年	3件	6億5,025万円

今後の見通しと問題点

国内全体では、インバウンド需要を中心とする観光産業や個人消費などで活発な動きが見られ景気を牽引する一方、エネルギー価格をはじめとする各種物価の高騰や深刻な人手不足、人件費上昇、借入の返済負担増や資金調達難など企業活動におけるマイナス要素の根は深く、北海道内では倒産件数の増加も目立ってきている。さらに、各金融機関において金利引き上げの流れが着々と進行し、中小事業者からはその影響を懸念する声も聞こえてくる。

オホーツク管内では昨年9月以降は倒産発生も見られず落ち着いた状況の中で新年を迎えたが、年明けから一挙に雲行きが変わり、2ヵ月連続で倒産企業が出るなど重苦しい空気が漂い始めている。各事業者は様々な事業展開を試みて売上の底上げに奔走するものの、物価高騰や深刻な人手不足など取り巻く環境は依然として厳しく、地方の中小企業にとっては先行き不透明感が拭えない状況にあるようだ。

